

山行報告書

報告書作成

2012年8月21日

山名 [山域]	日出ヶ岳(1694m) [大台ヶ原]	目的と方法	沢登り
登山期間	2012/8/18(土)~19(日)	山行形態	1泊2日(前夜発・テント泊)
参加人数	2人		

行動記録 【雨のち晴 18~25℃】

8月17日(金)

岡崎発(2030)===大台ヶ原着(100)テント泊

8月18日(土)

大台ヶ原駐車場発(730)---日出ヶ岳(800, 830)---堂倉避難小屋(920)---堂倉谷出合(1100)

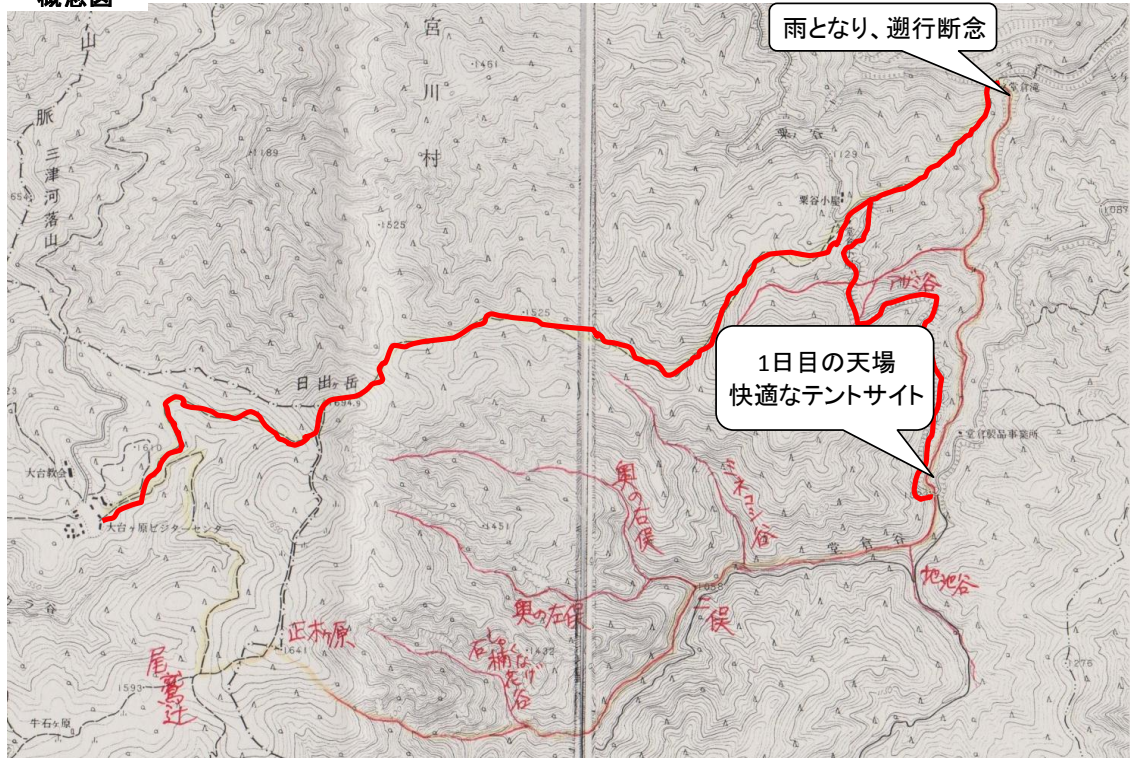
---入渓・F2付近(1230)天候不順により断念(1300)---林道(1420)---1023m林道の橋着(1530)テント泊

8月19日(日)

幕营地発(700)---堂倉避難小屋(800)---日出ヶ岳(1130, 1200)---駐車場着(1230)

===ホテル杉の湯(1400, 1500)===岡崎着(2100)

概念図



日誌

・大気の状態が不安定。日差しがきつい天気になったかと思えば、突然の雷により降雨となる。たいへん蒸し暑かった。登山届は、大台ヶ原ビジターセンターにポストあり。登山道はよく整備されており、駐車場から日出ヶ岳までは、ハイカー、家族連れなどが多数いた。途中、堂倉避難小屋があり、中を覗くとたいへんきれいであるが、トイレが崩壊しており、また水場がないのが難点である。

・入渓するために山を下降する。堂倉谷は立派な滝で、圧巻である。高巻くために堂倉橋(吊り橋)手前の架線場後からガレ場を下降するが、少しわかりづらい。入渓した途端、雷雨がひどくなったので、すぐに断念。来た道を引き返し、エスケープの林道をたどる。その頃には天気もよくなった。1023m地点でテント泊。夜半から雨となる。翌朝、天気は良くなったが、膝と腹の調子が悪く、今回は遡行を断念。来た道に戻る。

感想

敗退です。今回、全く沢に触れずに帰ってきたのは、口惜しい限り。1日目は入渓したとたん雷を伴うともなう土砂降りとなった。増水の怖さも知っているので、遡行を断念。アクアソールは濡れているとフリクションが効かないので、便利ではあるが、フェルトソールの方が雨天時にはよい気がした。入渓前に下山から始まる今回の沢は、久々の重荷(たかが約20キロ)で膝をやられた。登りはなんともないが、下りで膝が曲がらず、曲げると激痛が走る。また、お腹の調子も悪く、最悪のコンディションになった。歩荷訓練の必要性を感じた。というか、年を感じてしまった。でも、今回ひさびさの焚き火や満天の星空に癒され、ゆったりと過ごせたことは、収穫であった。コンディションを整えて、来年再びチャレンジしたいものである。